

事例研究～中国ビジネス法務

北京市大地律師事務所 / 日本部
パートナー弁護士 法学博士 熊琳

第162回 全人代による2020年立法計画の公布

中国全国人民代表大会常務委員会（以下「全人大」という）が2020年6月20日に公布した「2020年度立法活動計画」には、審議を開始または継続するか、審議を待つ対象として数十件の法律が記載されています。その中には日系企業の経営に重要な影響をもたらすものも少なくないため、今回はこれらの内容についてご説明いたします。

◇日系企業の経営に密接に関係する新たな法律の制定

機密分野に関連するものや、緊急の立法の要請があるなどの特殊な状況を除いて、中国における一部の法律の立法過程には、数カ月から数年に至るまで異なる長さの期間を要することが多く、その期間中、全人代により不定期に公布される立法計画で取り上げられたり、重要法律の草案についてパブリックコメントが実施されることもあります。それらの中には、日系企業が将来的な経営活動の展開を検討する上で、一定の参考価値を持つ重要な内容も含まれています。

20年4月29日に改正案が可決された「固形廃棄物汚染環境対策法」を例にとると、同法の立法過程において広く注目された「拡大生産者責任制度」が最終的に留保されています。今後、電気・電子製品、鉛蓄電池、自動車用駆動バッテリーなどの製品の生産者に対し、製品販売量に相応の不要品・廃棄品回収システムを確立することが義務付けられることとなります。これらの内容が、企業の生産経営方式および環境保護対策にきわめて大きな影響を与えるものとなることは間違いありません。

◇2020年の立法計画の中で注目される重点内容

1. 昨年までにすでに審議が開始され、20年も審議を継続する法案

「民法典」や「固形廃棄物環境汚染防止法」がすでに審議で可決されたほか、「生物安全法」、「特許法」（改正）、「档案法」（改正）、「輸出規制法」等10件の法案が審議待ちとなっています。このうち、日系企業にとり特に注目されるのは「輸出規制法」であり、これは18年からすでに立法計画に含まれていたものの、その規定する「再輸出制限」（中国からある国に輸出された製品を、さらに第三国に輸出する場合も、同法による規制を受けることになる）が多くの国家の不満を招き、さらには米中貿易摩擦が発生したことにより、立法作業の進展が緩慢となっていました。しかしながら、今年度の立法計画の中では再度、優先順位の高いものとして挙げられており、引き続き同法に「再輸出制限」などの外国企業や外資系企業にとり不利な内容が記載されるか、注意して見守る必要があります。

2. 20年より初回審議が開始される法案

「香港特別行政区における国家安全の維持にかかる法律制度および執行メカニズムを確立して健全化するに関する決定」など特殊な背景事情があって迅速に可決されたもの以外に、なお27件の法案について今年から審議が開始されることになっており、日系企業が最も注目すべきものには以下があります。

(1) 「個人情報保護法」：個人情報とは民事権利の一つとしてすでに「民法典」に盛り込まれているが、保護義務を負う主体、義務の内容、必要な保護措置および法律責任などを含む詳細内容については「個人情報保護法」中で規定される。

(2) 「データ安全法」：同法ではデータのレベル別分類管理、リスク評価、検出アラートと緊急対応措置などのデータを安全管理するための多くの制度が確立され、データを扱う活動をする組織、個人のデータ安全保護義務および法的責任についても規定される。同法は運用の上で「ネットワーク安全法」とも一定の関連性を持ち、データに関する規制がさらに強化される。

これらのほか、「著作権法」(改正)、「行政処罰法」(改正)、「行政不服審査法」(改正)、「伝染病対策法」(改正)、「突発事件対応法」(改正)、「安全生産法」(改正)なども注目される。

3. 全人大で計画審議に含めることが検討されている項目

これらの項目はまだ正式には法案となっていないものの、これらの中にも日系企業が注目すべき内容が少なくありません。

- 「科学技術進歩法」、「農産品品質安全法」、「会計監査法」、「資金洗浄防止法」、「商業銀行法」、「保険法」などの法律の改訂およびビジネス環境の改善に関わる法改正項目。
- 「電気通信法」、「危険化学品安全法」、「民事強制執行法」などの法律の制定。

◇日系企業へのアドバイス

20年の全人大立法計画には重要分野における立法の動向が反映されています。これに十分注目し、内容を把握した上で相応の対応措置を講じておくことで、関連の法律が正式に施行された後になって対処に慌てる事態を回避することができます。

中沙(天津)石化、エチレン生産能力拡張=130万トンに

中国天津市滨海新区を拠点とする中外合弁の石油化学会社、中沙(天津)石化は11日までにエチレン生産能力の拡張に向けた主要設備の設置を完了した。今後、関連設備の設置を経て、従来の年100万トンから同130万トンの引き上げる計画だ。人民網が13日伝えた。

中沙(天津)石化は中国国有石油大手の中国石油化工(シノペック)とサウジアラビア基礎産業公社(SABIC)の合弁工場で、2010年に商業生産を開始した。(時事)

《大連・瀋陽・東北》

大連市の6月CPI、2.3%上昇=食品が押し上げ

中国国家统计局大連調査隊によると、遼寧省大連市の6月の消費者物価指数(CPI)は前年同期比2.3%の上昇だった。うち食品が7.2%、食品以外が1%、消費品は2.5%、サービスは2.0%それぞれ上昇した。1~6月は前年同期比3.1%上昇だった。大連日報(電子版)が11日伝えた。

大連市の6月のCPIは、前月比では0.2%の下降。うち食品は1.4%の下降、食品以外は0.1%の上昇、消費品は0.3%の下降、サービスは0.1%の下降だった。

6月は食品・たばこ・酒の価格は前年比6%上昇し、物価全体を1.79ポイント押し上げた。肉類は前年同月比47.2%上昇した。

大連市で、企業需要を反映する6月の卸売物価指数(PPI)は前年同月比3.9%下降、前月比0.6%下降、製造業購買担当者景況指数(PMI)は前年同月比7.9%下降、前月比2.1%上昇。1~6月のPPIは前年同月比1.1%下降、PMIは5.0%下降だった。(時事)

瀋陽集団、中国最大のエチレン分解ガス圧縮機の開発成功

中国国有設備メーカーの瀋陽鼓風機集団(瀋陽集団、遼寧省瀋陽市)は9日、中国石油化工(シノペック)とサウジアラビア基礎産業公社(SABIC)の合弁石油化学、中沙(天津)石化(天津市)のプラント内に設置したエチレン分解ガス圧縮機が窒素ガスの発生試験に成功した。同圧縮機は窒素ガスなどの年産能力が130万トンで、国内では最大。遼寧日報(電子版)が11日伝えた。

今回、100万トン以上の規模のエチレン分解ガス圧縮機の開発と据え付けに成功したことで、同社は業界で世界トップクラスの位置を占めたという。(時事)